

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
バラ	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.2 (95%)	873 (98%)	647 (98%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	梅雨明け後の気温の上昇に伴い、到花日数が短くなりやや小花傾向が見られるが、生育は順調である。高温対策として、夜冷や遮光を行っている。出荷量は平年並みを見込む。
	茨城	施設	アマダ、アバ ランチェ、サム ライほか	周年	8	320	280	34	30	37	古河市、石岡市 他	出荷量は昨年並み。高温により品質低下傾向にあり。
	静岡	施設	サムライ オール4ラブ シンディ ベイブ	周年 10-12 3-5月		820 (95%)	650 (95%)	20	45	35	JALみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢咲	8月末まで出荷休みの生産者があるが、9月に入り出荷量は回復してくる見込み。7月の気温が低い事と、夜冷管理を行う生産者が増えた事で、全体量と7-60cmクラスの発生率は前年(猛暑)と比べて上がってくる見通し。
	愛知	周年	サムライ08 アヴァランチェ系 ファンシーローラ シンディ 他	4-3月		2,600 (99%)	1,400 (100%)	30	30	40	愛知みなみ ひまわり 西三河	・出荷量は、8月上中旬は例年より多かったが、下旬に入り減少している。9月の2週続けてある三連休に合わせて増える見込み。 ・新品種の出荷もこの時期に合わせて開始する見込み。
アルストロメリア	北海道	周年	アイスクリーム アパランジェ アーロン レモネード	周年 (5・10月)		1,187 (103%)	4,503 (97%)	30	30	40	岩見沢市 JAいわみざわ	白系品種は特に少ない。一部暑さにより花卉がすけています。
	青森	周年	オルガ アルーラ ピンクサプライズ	周年 (5~8月)	1.92 (100%)	1,089 (101%)	709 (101%)	40	30	30	藤崎町	8月お盆前に安値となったことから、摘心を進めた生産者もあり、9月は彼岸前 に出荷ピークとなる見込み。
	長野	加温 春定植	ピンクティアラ ホイトニー Pサプライズ バリ 他	9~5月 (3~4月)	25 (97%)	784 (110%)	313 (100%)	33	33	34	伊那 諏訪 松本	葉先枯れが少ない。
トルコギキョウ	北海道	促成~	ハピネスホワイト ロベラブルーフラッシュ	5~11月		2,188	3,632	34%	33%	33%	由仁町 JAそらち南	高温の為一週間ほど生育が進んでいる。
			マキアホワイト モンロー	(8~9月)	(100%)	(112%)	10%	30%	60%			
	青森		セレブ ボヤージュ ロジーナ	6~11月 (9月)	5.13 (101%)	901 (108%)	568 (108%)	30	40	30	つがる市 田舎館村 八戸	盆出荷に合わせてピークを迎えたことから、出荷量は落ち着いている。今後は9 月の彼岸に向けて徐々に増加する見込み。 干ばつの影響から、背丈の短いものが増えている。
秋田		品種多数	5~11月 (9~10月)	1191 (110%)	530		30	30	40	秋田ふるさと 秋田こまち 秋田おばこ	現状、出荷は落ち着いており、9月以降順次増加を見込む。 高温と乾燥により一部産地で丈が短く、すでに花芽を持っているものも散見さ れる。	

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
トルコギキョウ	山形	加温、無加温、シェード・加温	ポヤージュ・レイナ・ロジーナシリーズ、白八重、ピンク八重、八重、一重他	6~11月 (7月~10月)		900 111%	630 111%	40	30	30	JA庄内たがわ、JA鶴岡、JAおいしいもがみ、JA新庄市、JAあまらめ、JAやまがた、JA山形市	9月出荷の生育は例年よりやや前進傾向。草丈などの品質は良好である。
	福島	施設	ポヤージュ系他	5~11月 (7月)	12.2 (102%)	50 (105%)		30	40	30	西部	低温による生育の遅れから、当初見込みより盆明けの出荷比率が高まったが、数量は徐々に減少推移。品質は安定。
	長野	季咲二番花抑制	レイナ各種 クラリスP オーブ各種 マリアW 他	(9月中旬)	47 (97%)	2,695 (112%)	735 (101%)	35	35	30	諏訪 伊那 北信	秋彼岸向けの生育は前進、草丈が短い傾向。
	熊本	施設	サカタ系 タキイ系 ミヨシ系 など	周年 (11~5月)	21.6 (100%)	320 (85%)		20%	35%	45%	熊本市 やつしろ あまくさ くま 他	早い作型は定植スタートしており、本格的な定植のピークは8月中旬~下旬。防除の徹底により育苗段階での斑点病の発生もなく概ね順調な生育となっている。夏秋産地においては1~2週間程度の遅れがみられる為、9月の出荷は減少する見込み。
りんどう	山形	露地	セト品種、山形県オリジナル品種、他	7月~11月 (8月~10月)		1,200 (103%)	800 (103%)	30	40	30	JAやまがた、JAさがえ西村山、JAおいしいもがみ、JA山形おきたま	9月出荷の生育は例年並みである。品質は良好。
	福島	露地	カセン ホワイトベル ナガノ 他	7~11月 (7~9月)	4.6 (101%)	65 (102%)		15	70	15	会津みなみ	低温により生育が遅れ気味。彼岸分の生育は良好。

花きの県別生産出荷概況(9月見通し)

令和元年8月30日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	高温の影響で上位等級が減少、下位等級の販売苦戦。 3連休前の婚礼需要以外は厳しい取引。盆需要におされブライダルの注文が減少。	
	見通し	大田花き FAJ 世田谷花き 東日本板橋花き 東京フラワーポート	敬老の日需要に加えて、3連休が2週続いたため婚礼需要が見込まれる。高温の影響を受け、下位等級中心の出荷。 3連休に合わせたブライダル需要で引合い強い。残暑の影響で暖地の出荷が遅れ、数量減少の見込み。 入荷量は昨年並みの見込み。上位等級に引き合いが強い。ブライダル需要に期待。 暑さの影響で上位等級が少なく、丈の短い品物の入荷比率が増加する。 国産物は花のボリューム、ステム不足だが、花の立ちは良い。輸入物増。
アルストロメリア	現状	今年は8月上旬まで数量があったが、葬儀需要のみのため中値安定で取引された。中旬以降気温が上昇し、数量は大きく減少、高値で取引された。 梅雨明け後の高温で入荷は少なく、上位等級が減少したものの、動きがよく高値安定。	
	見通し	大田花き FAJ 世田谷花き 東日本板橋花き 東京フラワーポート	今後も高温が続くと株の回復が遅れ、葬儀需要中心だが品薄が続く見通し。入荷は下旬に向けて徐々に回復する見込み。 彼岸需要が見込まれる。数量は昨年並みの見込み。 数量変わらず引き合いが強い。 愛知、青森産中心の入荷。昨年並みの入荷量の予定だが、天候次第で増減あり。 高温の影響で前半は少ないが、後半は増加してくる。
トルコギキョウ	現状	北海道、東北各県、長野中心に数量は増加。産地によっては6~7月の曇天の影響でやや遅れた。お盆、業務用中心に引き合いが強まり、白中心に動きが良かった。 盆前は若干少なく、週をはさんで急増し、やや厳しい販売状況。	
	見通し	大田花き FAJ 世田谷花き 東日本板橋花き 東京フラワーポート	主産地の長野、福島、秋田、北海道中心に数量はまとまる。下旬に向けて上位等級中心に潤沢な入荷となる見込み。 品薄で単価高が見込まれる。需要もブライダル・葬儀中心に動く見込み。 梅雨明け後からの高温で咲き進んでおり、各色潤沢。 上旬は下位等級がやや多い。青森、北海道産は順調に入荷する見込み。 7月の曇天の影響で、若干圃場に障害が見られる。
りんどう	現状	高温で抑制がかかり、盆直前まで入荷が少なく価格高め。お盆後にピークがずれたため単価安に。 秋田産は8月盆需要にしっかり出荷し、販売好調。	
	見通し	大田花き FAJ 世田谷花き 東京フラワーポート	高温抑制で各地とも出荷はやや遅れているが、気温が低下すれば敬老の日、お彼岸に向けて順調な出荷となる見込み。 中旬以降に業務需要で引合い強めの見込み。生育は順調で、昨年並みの数量の見込み。 中旬から彼岸需要あり、各色動く。品種の数も増える。 順調だが天候次第で状況が変わる。